

学会

発表した成果(発表題目、口頭・ポスター発表の別)	発表者氏名	発表した場所(学会等名)	発表した時期	国内・外の別
有害事象自発報告データベース(FAERS)からみたアバカビルによる過敏症発症リスクの民族差の検討(ポスター)	小川 喜寛、河合 加奈、西川 良平、頭金正博	第22回クリニカルファーマーセッションポジウム(東京)	2014年6月28日	国内
有害事象実報告データベースを用いた副作用発症リスクにおける民族差の検討(ポスター)	小川 喜寛、河合 加奈、西川 良平、福澤和輝、頭金正博	第35回日本臨床薬学会学術総会(松山)	2014年12月4日	国内
有害事象自発報告データベース(FAERS)からみた日本とアメリカにおけるイソニアジドの副作用発症リスクの比較(ポスター)	河合 加奈、小川 喜寛、西川 良平、頭金正博	第24回 日本医療薬学会年会(名古屋)	2014年9月27日	国内
ワルファリンとダビガトランにおける出血性副作用の民族差の検討(口頭)	小川 喜寛、菅谷 真紀、河合 加奈、頭金正博	第24回 日本医療薬学会年会(名古屋)	2014年9月27日	国内

Consideration points on ethnic factors- Overview of Clinical Pharmacological study among Chinese, Japanese, Korean, American- PPK analysis used the data above(口頭)	Masahiro Tohkin	2014 APEC LSIF Joint Multi-Regional Clinical Trials (MRCTs) and Good Clinical Practice (GCP) Inspection Workshop (Qingdao, China)	2014年5月8日	国外
Ethnic difference in isoniazid-induced liver injury; detection by the FDA Adverse Event Reporting System Database. (ポスター)	Shun Nakano, Kana Kawai, Yoshihiro Ogawa, Masahiro Tohkin	19th North American ISSX Meeting, 29th JSSX Meeting	2014年10月20日	国外
Effect of Ethnic Difference of Pharmacokinetics on the Prescription Dose of Statins and Selective Serotonin	Kento Yamada, Maki Sugaya, Yukiko Fujiwara, Hiromi Hagiwara, Shinichi Kawai, Masahiro Tohkin	19th North American ISSX Meeting, 29th JSSX Meeting	2014年10月20日	国外

ReuptakeInhibitors (ポスター)				
DMARDsの適応と使い方(教育講演)	川合眞一	第58回日本リウマチ学会総会・学術集会	2014年4月	国内
palisades neutrophilic granulomatousdermatitisで発症した側頭動脈炎の一例(ポスター)	世良 泰, 村岡 成, 川合眞一	第58回日本リウマチ学会総会・学術集会	2014年4月	国内
関節リウマチ患者における血清sRANKLおよびOPGの意義(ワークショップ)	鹿野孝太郎, 金子開知, 川添麻衣, 進藤恵美子, 増岡正太郎, 佐藤洋志, 藤尾夏樹, 鍋木 誠, 村岡 成, 北原加奈子, 田中菜穂子, 山本竜大, 楠夏子, 楠 芳恵, 高 木賢治, 蓮沼智子, 遠 藤平仁, 川合眞一	第58回日本リウマチ学会総会・学術集会	2014年4月	国内
ステロイド性骨粗鬆症におけるDickkopf1およびsclerostinの臨床的意義(ワークショップ)	川添麻衣, 金子開知, 鹿野孝太郎, 増岡正太郎, 進藤恵美子, 佐藤洋志, 藤尾夏樹, 鍋木誠, 村岡 成, 北原加	第58回日本リウマチ学会総会・学術集会	2014年4月	国内

	奈子, 田中菜穂子, 山本竜大, 楠夏子, 高木賢治, 蓮沼智子, 遠藤平仁, 川合眞一			
関節リウマチ滑膜組織におけるウイルス由来遺伝子の発現と疾患感受性遺伝子HIA-DRB1多型の検討(ワークショップ)	高松 諒, 蓮沼智子, 楠夏, 鹿野孝太郎, 窪田綾子, 宮崎芳安, 中村卓司, 高橋 寛, 川合眞一	第58回日本リウマチ学会総会・学術集会	2014年4月	国内
ステロイド性骨粗鬆症に対するテリパラチド投与による血清可溶性RANKL、osteoprotegerinの変動(ポスター)	金子開知, 鹿野孝太郎, 川添麻衣, 増岡正太郎, 進藤恵美子, 佐藤洋志, 藤尾夏樹, 鍋木 誠, 村岡 成, 北原加奈子, 田中菜穂子, 山本竜大, 楠夏子, 高木賢治, 蓮沼智子, 遠藤平仁, 川合眞一	第58回日本リウマチ学会総会・学術集会	2014年4月	国内
メトトレキサート治療中の関節リウマチ患者における副作用の発現と、細胞内濃度および	藤尾夏樹, 山本竜大, 楠夏子, 増岡正太郎, 川添麻衣, 進藤恵美子, 佐藤洋志, 鹿野孝太郎,	第58回日本リウマチ学会総会・学術集会	2014年4月	国内

細胞内代謝関連酵素の遺伝子多型に関する研究(ワークショップ)	<p>           鍋木誠, 村岡 成, 北原加奈子, 田中菜穂子, 金子開知, 楠 芳恵, 高木賢治, 蓮沼智子, 遠藤平仁, 川合眞一         </p>			
血清ミッドカイン濃度はRAの疾患活動性と相関する(ワークショップ)	<p>           進藤恵美子, 蓮沼智子, 楠 芳恵, 楠 夏子, 増岡正太郎, 川添麻衣, 佐藤洋志, 藤尾夏樹, 鹿野孝太郎, 北原加奈子, 鍋木 誠, 村岡 成, 山本竜大, 金子開知, 高木賢治, 遠藤平仁, 川合眞一         </p>	<p>           第58回日本リウマチ学会総会・学術集会         </p>	<p>           2014年4月         </p>	<p>           国内         </p>
関節リウマチによる胸膜炎では胸水中レジスチンとレプチン濃度が増加する(ワークショップ)	<p>           鍋木 誠, 蓮沼智子, 増岡正太郎, 川添麻衣, 進藤恵美子, 佐藤洋志, 鹿野孝太郎, 藤尾夏樹, 村岡 成, 田中菜穂子, 北原加奈子, 山本竜大, 金子開知, 高木賢治, 楠夏子, 遠藤平仁, 川合眞一         </p>	<p>           第58回日本リウマチ学会総会・学術集会         </p>	<p>           2014年4月         </p>	<p>           国内         </p>

最新リウマチ治療とリウマチ登録薬剤師制度	川合眞一	城南薬剤師連携セミナー	2014年6月	国内
臨床内科医が必要な関節リウマチの基礎知識 ～かかりつけ患者をどうみるか～	川合眞一	世田谷区医師会内科医 会総会	2014年6月	国内
多発血管炎性肉芽腫症に脊髄炎と末梢神経障害を併発した一例	川添麻衣, 楠木 誠, 増岡正太郎, 進藤恵実子, 佐藤洋志, 藤尾夏樹, 鹿野孝太郎, 村岡成, 田中菜穂子, 山本竜大, 金子開知, 蓮沼智子, 川合眞一	第55回関東リウマチ研究会	2014年6月	国内
関節リウマチ治療におけるステロイドと鎮痛薬の使い方	川合眞一	第7回順天堂リウマチカンファレンス	2014年6月	国内
Gamma-giutamyi hydrolase gene polymorphisms provide for intracellular methotrexate concentration on patients with rheumatoid arthritis.	Kawai S, Yamamoto T	WCP2014 ( 17th World Congress of Basic & Clinical Pharmacology )	2014年7月	国外

慢性疼痛の薬物療法～ 最近の考え方～	川合眞一	大森医師会学術講演会	2014年8月	国内
関節リウマチに対する オレンシアの 1st-biologicaとしての 可能性	川合眞一	ORENCIA Expert Forum	2014年9月	国内
ステロイドの使い方～ その歴史から最近の話 題まで～	川合眞一	第9回大阪免疫・皮膚ア ンチエイジング研究会	2014年10月	国内
リウマチ領域のステロ イド療法～エビデンス からみた使い方～	川合眞一	第11回群馬県リウマチ 登録医・実地医家の会	2014年10月	国内
悪性関節リウマチ～病 気理解と治療につい て～	川合眞一	平成26年度中区難病講 演会	2014年10月	国内
テリパラチド治療によ りステロイド性骨粗鬆 症患者の血清可溶性 RANKLは低下する（口 演）	金子開知，鹿野孝太郎， 川添麻衣，楠 夏子， 川合眞一	第16回日本骨粗鬆症学 会	2014年10月	国内
ステロイド治療による 血清Sclerostinと Dickkopf-1の変動とそ	川添麻衣，鹿野孝太郎， 金子開知，楠 夏子， 川合眞一	第16回日本骨粗鬆症学 会	2014年10月	国内

の臨床的意義（ポスター）				
ステロイドの選び方と使い方	川合眞一	北海道医師会認定生涯教育講座：苫小牧関節リウマチ懇話会	2014年10月	国内
リウマチってどんな病気？膠原病ってどんな病気？	川合眞一	なるほど！リウマチ公開講座in大田区	2014年10月	国内
Significance of serum sRANKL and osteoprotegerin concentration in patients with rheumatoid arthritis. (Poster)	Shikano K, Kaneko K, Kawazoe M, Masuoka S, Sato H, Shindo E, Fujio N, Kaburaki M, Muraoka S, Tanaka N, Yamamoto T, Takagi K, Kusunoki N, Hasunuma T, Kawai S	2014 ACR/ARHP Annual Meeting	2014年11月	国外
Significance of serum marker levels of Wnt/-catenin signaling pathway in patients with systemic autoimmune diseases under glucocorticoid	Kawazoe M, Shikano K, Kaneko K, Masuoka S, Sato H, Shindo E, Fujio N, Muraoka S, Kaburaki M, Tanaka N, Yamamoto T, Takagi K, Kusunoki N,	2014 ACR/ARHP Annual Meeting	2014年11月	国外



therapy: a prospectivestudy. ” 2014 ACR/ARHP Annual Meeting. ( Poster )	HasunumaT, Kawai S			
Midkine, a growth factor, may play a pathophysiological role in patients with rheumatoid arthritis. ( Poster )	Shindo E, Hasunuma T, Masuoka S, Kawazoe M, Sato H, Fujio N, Shikano K, Kaburaki M, Muraoka S, Tanaka N, Kaneko K, Yamamoto T, Takagi K, Kusunoki N, Kawai S	2014 ACR/ARHP Annual Meeting	2014年11月	国外
Changes in serum soluble RANKL and osteoprotegerin levels after teriparatide administration in rheumatic disease patients with glucocorticoid-induced osteoporosis. ( Poster )	Kaburaki M, Kaneko K, Shikano K, Kawazoe M, Shindo E, Sato H, Hasunuma T, Fujio N, Muraoka S, Tanaka N, Yamamoto T, Kusunoki N, Kawai S, Masuoka S	2014 ACR/ARHP Annual Meeting	2014年11月	国外
成人発症Still病に対	増岡正太郎, 川添麻衣,	第29回日本臨床リウマ	2014年11月	国内

してトシリズマブを導入した6症例の臨床的検討（口演）	進藤恵実子，佐藤洋志，鹿野孝太郎，藤尾夏樹， 鶴木 誠，村岡成，金子開知，田中菜穂子， 山本竜大，蓮沼智子，高木賢治，川合眞一	チ学会		
いまどきのステロイド療法	川合眞一	第24回日本リウマチ学会北海道・東北支部学術集会	2014年11月	国内
Non Bio-DMARDsの使い方	川合眞一	第26年度関東・甲信越地区リウマチ教育研修会	2014年11月	国内
広範な脊髄病変を呈し、インフリキシマブが有効であった神経ペーチェット病の一例	田原由利子，増岡正太郎，川添麻衣，進藤恵実子，佐藤洋志，鹿野孝太郎，藤尾夏樹， 鶴木誠，村岡 成，田中菜穂子，山本竜大， 蓮沼智子，川合眞一，高澤隆紀	広範な脊髄病変を呈し、インフリキシマブが有効であった神経ペーチェット病の一例	2014年12月	国内
日中韓における糖尿病治療薬の処方量の比較（ポスター）	藤原由季子，山田健人，伊東真紀，萩原宏美， 川合眞一，頭金正博	第35回日本臨床薬理学会学術総会	2014年12月	国内

リウマチ性疾患患者に対するデノスマブ治療による骨代謝の変動 (口演)	川添麻衣, 鹿野孝太郎, 金子開知, 蓮沼智子, 川合眞一	第35回日本臨床薬理学会学術総会	2014年12月	国内
治験審査委員会と倫理委員会の現状	川合眞一	第1回メディカルアフェアーズ(MA)担当者養成特別講座 - 新時代を迎えたMAの体制構築へ向けて -	2015年1月	国内
Activities of clinical trials sites to adapt risk-based monitoring	熊谷雄治	第2回DIAクリニカルオペレーション・モニタリングワークショップ	2014年2月28日	国内
Roles of Academia and its Networks for Asian Collaboration in Clinical Trials	熊谷雄治	第8回DIAアジア新薬開発カンファレンス	2014年5月22日	国内
アカデミアにおける臨床試験 - ARO等の国際比較 -	熊谷雄治	第32回日本神経治療学会総会	2014年11月20日	国内
日本の臨床研究の課題と期待(口頭)	渡邊裕司	第46回日本動脈硬化学会総会・学術集会	2014.7.11	国内
実臨床に応用すること	小田切圭一, 渡邊裕司	第46回日本動脈硬化学	2014.7.11	国内

<p>ができる、 信頼性・精度の高い臨床研究を行うために (口頭)</p>		<p>会総会・学術集会</p>		
<p>臨床研究管理センター と検査部との連携強化 に向けた取り組み - 質 の高いデータを収集す るために - (ポスター)</p>	<p>乙部恵美子, 勝又美由 紀, 田中幹子, 臼井あけ美, 目秦文子, 濱田悦子, 古田隆久, 前川真人, 梅 村和夫, 渡邊裕司</p>	<p>第14回CRCと臨床試験 のあり方を考える会議 2014in 浜松</p>	<p>2014.10.4</p>	<p>国内</p>
<p>医師主導治験における 健常者を対象とした臨床 第 相試験の課題と 方策 (ポスター)</p>	<p>豊田宣子, 橋本直美, 木 山由美, 斉藤葉子, 老川佐緒里, 荒澤恵子, 岩城孝行, 古田隆久, 渡 邊裕司, 梅村和夫</p>	<p>第14回CRCと臨床試験 のあり方を考える会議 2014in 浜松</p>	<p>2014.10.4</p>	<p>国内</p>
<p>健常人においてナドロ ールの体内動態に及ぼ す緑茶の影響 (ポス ター)</p>	<p>三坂眞元, 矢田部純一, Fabian Mueller, 高野 梢, Hartmut Glaeser, 矢田部緑, 尾上誠 良, Jose P. Werba, 渡邊</p>	<p>第35回日本臨床薬理学 会学術総会</p>	<p>2014.12.6</p>	<p>国内</p>

	裕司, 山田静雄, Martin F. Fromm, 木村純子			
「医薬品開発と適正な情報提供のための薬物相互作用ガイドライン」の最終案について(ポスター)	前田京子, 樋坂章博, 久米俊行, 前田和哉, 鈴木洋史, 三浦慎一, 佐藤正延, 佐藤玲子, 永井尚美, 斎藤嘉朗, 渡邊裕司, 大野泰雄	第35回日本臨床薬理学会学術総会	2014.12.6	国内
アマンタジンの血液脳関門輸送におけるH+/有機カチオン交換輸送体の関与(ポスター)	鈴木 豊史, 青山隆彦, 深水啓朗, 松本 宜明, 伴野 和夫	日本薬剤学会 第29年会	平成26年5月20日	国内
仮想日本人患者におけるベイズ推定によるワルファリン投与後INR予測性の検討(ポスター)	野尻和裕, 高田康平, 青山隆彦, 松本 宜明	第31回TDM学会	平成26年5月31日	国内
添付文書および医薬品インタビューフォームを基にした現場で	古沢紗綾香, 大村由花, 井藤里奈, 青山 隆	医療薬学 フォーラム 2014/第22回クリニカルファーマシーシン	平成26年6月28日	国内

活かせる血中薬物濃度シミュレーションの概念を習得させるための学生実習（ポスター）	彦、小山由美、松本宜明	ポジウム		
薬物動態/薬力学モデルによるアセトアミノフェン静脈内投与時の鎮痛効果予測（ポスター）	青山隆彦、大森崇行、宮本葵、林宏行、後藤一美、松本宜明	第58回日本薬学会関東支部	平成26年10月4日	国内
反復投与における薬物血中濃度を予測計算できるアンドロイドアプリ（ポスター）	小林宏司、秋元美咲、松田涼子、保森麻実、諏訪雅士、青山隆彦、松本宜明	日本薬学会第135年会	平成27年3月26日	国内
日本人と東及び東南アジア諸民族における薬物代謝酵素・トランスポーター遺伝子多型の民族差（ポスター）	佐井君江 杉山永見子 松澤由美子 斎藤嘉朗	第35回日本臨床薬理学術総会	2014年12月	国内
東及び東南アジア諸民族における薬物代謝	杉山永見子 佐井君江 今任拓也 斎藤嘉朗	日本薬学会135年会	2015年3月	国内

酵素遺伝子多型 の民族差（ポスター）				
Statistical Analysis for Multi-National Clinical Trials in Inter-Variations among Regions	M.Takeuchi H.Uno A.Yoshida M.Takeuchi F.Takahashi	FDA/ Industry Workshop ( USA )	2012年9月	国外
地域一貫性指標に関する考察	吉田 顕臣、高橋 史朗、竹内 正弘	RIMS 共同研究 Asymptotic Expansions for Various Models and Their Related Topics 研究会	2013年3月4日	国内
統計学的手法と民族差	竹内 正弘	第34回日本臨床薬理学会 学術総会 シンポジウム	2013年12月5日	国内
Regulatory perspective on use of foreign clinical data for drug approval: PMDA 's experience	Uyama Y	5th FIP Pharmaceutical Science World Congress, Melbourne, Australia	2014/4/16	国外
Regulatory perspective on use of foreign clinical data	Uyama Y	APEC MRCT/GCP inspection workshop, Qingdao, China	2014/5/9	国外

for drug approval: PMDA ' s experience				
Progress and Challenges to approve a drug based on data from global clinical trials: PMDA ' s experience	Uyama Y	50th Annual DIA meeting, San Diego, USA	2014/6/19	国外
Pharmacogenomics and Regulatory Science	Uyama Y	Global Summit on Regulatory Science 2014, Montreal, Canada	2014/8/21	国外
Advancing Roles of Japan on Global Drug Development; Ethnic factors consideration with a view to International Harmonization	Uyama Y	11th Annual Meeting DIA Japan, Tokyo	2014/11/18	国内



学会誌・雑誌等における論文掲載

掲載した論文（発表題目）	発表者氏名	発表した場所（学会誌・雑誌等名）	発表した時期	国内・外の別
関節リウマチと妊娠	川添麻衣, 川合眞一	臨床婦人科産科 68(5):453-461	2014年5月	国内
A feasibility study assessing tolerability of daily versus twice weekly trimethoprim-sulfamethoxazole regimen for prophylaxis against <i>Pneumocystis pneumonia</i> in patients with systemic autoimmune diseases on glucocorticoid therapy.	Yamamoto T, Hasunuma T, Takagi K, Akimoto K, Shikano K, Kaburaki M, Muraoka S, Kitahara K, Tanaka N, Kaneko K, Kusunoki Y, Endo H, Kawai S	Jpn J Clin Pharmacol Ther. 45(3):89-92	2014年6月	国外
鎮痛薬の種類と剤形による使い分け	川合眞一	BRAIN MEDICAL 26(2):175-180	2014年7月	国内
ステロイド性骨粗鬆症に対するテリパラチド投与による血清可溶性RANKL, OPGに関する臨床研究	金子開知, 川合眞一	Osteoporosis Japan 22(3):553-555	2014年7月	国内

Aの治療Up-to-date ステロイドは是か非 か？	進藤恵実子，川合眞一	モダンフィジシャン 34(8):917-921	2014年8月	国内
関節リウマチ患者にお ける赤血球内葉酸濃度 とメトトレキサート濃 度の臨床的意義	山本竜大，川合眞一	リウマチ科 52(2):201-205	2014年8月	国内
タクロリムスの有害事 象・有害反応	川合眞一	医学のあゆみ 250(11):1005-1010	2014年9月	国内
関節リウマチ患者に対 するイグラチモドの有 用性に関する観察研究 (EfficacyandSafetyof Igurati modinPatients withRheumatoidArthri tis by an Observational Study)	藤尾夏樹，田中菜穂子， 進藤恵実子，川添麻衣， 増岡正太郎，佐藤洋志， 鹿野孝太郎，鍋木 誠， 村岡 成，山本竜大， 金子開知，高木賢治， 蓮沼智子，川合眞一	薬理と治療 42(9):647-652	2014年9月	国内
Effectsofadipokineso nprostaglandinE2prod uctionbyrheumatoidsy novialfibroblasts.	KusunokiN,KojimaF,Ka wai S.	O'KeefeJM(Ed)Arachi donicAcid:Sources,Bi osynthesisandHealthE ffects.,pp165-183,No vaSciencePublishers, Inc.,NewYork,2014.[I	2014年4月	国外

		SBN:978-1-63117-619-7][ISBN:978-1-63117-620-3 (eBook)]		
Pharmacokinetics, efficacy and safety profile of esofetanercept monotherapy in Japanese patients with rheumatoid arthritis: review of seven clinical trials.	Takeuchi T, Miyasaka N, Kawai S, Sugiyama N, Yusa H, Yamashita N, Sugiyama N, Wagerle LC, Vlahos B, Wajdula J.	Mod Rheumatol. [Epub 2014 May 20]	2014年5月	国内
ヒト初回投与試験ガイドダンス	熊谷雄治	GCPハンドブック第5版	2014年2月28日	国内
Pharmacokinetics of teriparatide after subcutaneous administration to volunteers with renal failure: a pilot study.	Imai H, Watanabe M, Fujita T, Watanabe H, Harada K, Moritoyo T.	Int J Clin Pharmacol Ther., 52(2): 166-174.	2014	国外
Simultaneous LC-MS/MS Analysis of the Plasma Concentrations of a	Tanaka S, Uchida S, Inui N, Takeuchi K, Watanabe H, Namiki N.	Biol Pharm Bull., 37(1):18-25.	2014	国外

Cocktail of 5 Cytochrome P450 Substrate Drugs and Their Metabolites.				
Clinical efficacy and pharmacokinetics of levothyroxine suppository in patients with hypothyroidism.	Kashiwagura Y, Uchida S, Tanaka S, Watanabe H, Masuzawa M, Sasaki T, Namiki N	Biol Pharm Bull., 37(4):666-670.	2014	国外
Green tea ingestion greatly reduces plasma concentrations of nadolol in healthy subjects.	Misaka S, Yatabe J, Muller F, Takano K, Kawabe K, Glaeser H, Yatabe MS, Onoue S, Werba JP, Watanabe H, Yamada S, Fromm MF, Kimura J.	Clin Pharmacol Ther., 95(4):432-438. doi:10.1038/clpt.201 3.24 1	2014	国外
ANTCIPh (Academic Network for Trials in Clinical Pharmacology ) Trial 04 Study Group. Pharmacokinetics of	Imai H, Watanabe M, Fujita T, Watanabe H, Harada K, Moritoyo T, Goto K, Kotegawa T, Ohashi K, Uchida E, Ikeda Y, Suzuki T,	Int J Clin Pharmacol Ther., 52:166 -174.	2014	国外

teriparatide after subcutaneous administration to volunteers with renal failure	Hasunuma T, Okumura T, Kumagai Y, Takeuchi K, Inui N, Furuta T, Urano T, Mogami H, Iwaki T, Miyashima N, Okura T, Miyoshi K, Kurata M, Irita J, Enomoto D, Matsuura B, Furukawa S, Ueda A, Miyake T, Nagai M, Moritoyo H, Shimizu H, Koizumi M, Nomoto M			
Modeling and simulation of orlistat to predict weight loss and weight maintenance in obesity patients.	Nakai K, Wada R, Iida S, Kawanishi T, Matsumoto Y.	Drug Metab Pharmacokinet	2014;29(3):278-82.	国内
Analysis of factors affecting rehospitalization of patients with chronic	Kose E, An T, Kikkawa A, Matsumoto Y, Hayashi H.	Clin Pharmacol.	2014 Apr 8;6:71-8.	国外

kidney disease after educational hospitalization				
Application of a combination of a knowledge-based algorithm and 2-stage screening to hypothesis-free genomic data on irinotecan-treated patients for identification of a candidate single nucleotide polymorphism related to an adverse effect.	Takahashi H, Sai K, Saito Y, Kaniwa N, Matsumura Y, Hamaguchi T, Shimada Y, Ohtsu A, Yoshino T, Doi T, Okuda H, Ichinohe R, Takahashi A, Doi A, Odaka Y, Okuyama M, Saijo N, Sawada J, Sakamoto H, Yoshida T.	PLoS One. 2014;9(8):e105160.	2014年8月	国外
薬物相互作用に影響を	前川京子 佐井君江	ファルマシア :	2014年7月	国内

及ぼす 遺伝子多型と その人種差		2014; 50, 669-673.		
Representation of older patients in clinical trials for drug approval in Japan	Asahina, Y., Sugano, H., Sugiyama, E. and Uyama, Y	J Nutr Health Aging: 18: 520-5	April-14	国外
Significant differences in drug-lag in clinical development among various strategies used for regulatory submissions in Japan	Ueno, T., Asahina, Y., Tanaka, A., Yamada, H., Nakamura, M. and Uyama, Y	Clin Pharmacol Ther 95(5): 533-541	May-14	国外
Moving Beyond the Hazard Ratio in Quantifying the Between-Group Difference in Survival Analysis.	Uno, H., Claggett, B., Tian, L., Inoue, E., Gallo, P., Miyata, T., Schrag, D., Takeuchi, M., Uyama, Y., Zhao, L., Skali, H., Solomon, S.,	J Clin Oncol, 32(22): 2380- 2385	August-14	国外

	Jacobus, S., Hughes, M., Packer, M. and Wei, L.-J			
General Principles for the Education and Training of GCP Inspectors: The Outcome of Discussions by International Regulatory Experts in the Discussion Group on ICH E6 guideline.	Uyama, Y., Yamazaki, E., Clark, K., Wang, C. Y., Woro, E., Tong, F. Y., Sachidanandan, S., Rodriguez, A., Oh, H., Saleh, K., Cirunay, J., Wapeewuttikorn, A., Rogov, E., Alshahwan, K. W., Herrera, I., Mthetwa, J., Fakudze, F. and Osawa, T	Therapeutic Innovation & Regulatory Science, doi: 10.1177/2168479014551646	October-14	国外